

## 2020年度 授業計画 (シラバス)

授業科目	解剖学 I	分野	専門基礎	単位数	1	時間数	30	開講	前期
科目目標	人体が各組織・器官系統より、どのように構成されているか。また、正常な構造を形態的に理解する。								
回	主題	授業内容			授業方法		担当教員 (講師)		
1	人体の構造のなりたち	解剖学用語、人体の外形と部位からだの方向用語、体部の名称			講義		非常勤講師		
2	細胞と組織 1	上皮組織、支持組織 (結合、軟骨、骨組織)、腺の構造と分泌様式			講義				
3	細胞と組織 2	筋組織、神経組織、細胞の構造と細胞小器官のはたらき			講義				
4	骨系統総論	骨のミクロ構造、発生と成長、関節の構造と種類、リモデリング			講義				
5	骨系統各論 1	脊柱を構成する骨と連結、胸郭を構成する骨、頭蓋骨			講義				
6	骨系統各論 2	上肢と下肢の骨格、骨盤の性差、足のアーチ構造			講義				
7	筋系統総論	筋組織構造、筋の形態、腱と筋膜、筋の付属器、筋の起始と停止			講義				
8	筋系統各論 1	作用、拮抗筋と協力筋、神経支配、運動単位			講義				
9	筋系統各論 2	頭頸部、背部、胸部、腹部の筋、上肢、下肢の筋			講義				
10	消化器系統 1	口腔、歯、口蓋、舌、唾液腺、扁桃、咽頭			講義				
11	消化器系統 2	食道、胃、小腸 (十二指腸、空腸、回腸)、大腸 (盲腸、結腸、直腸)			講義				
12	消化器系統 3	肝臓、胆嚢、膵臓、腹膜、胃間膜 腹部断面、縦断像			講義				
13	循環器系統 1	動脈系、静脈系、リンパ管系、リンパ性器官、リンパ節			講義				
14	循環器系統 2	心臓の構造、特殊な血管系、体循環と肺循環、全身の血管			講義				
15	定期試験 (90分)								
教科書、参考書等	系統看護学講座 解剖生理学, 医学書院, 2020.								
評価方法	定期試験、小テスト、受講態度を基に総合的に評価する。								
履修上の注意点	講義中、他人に迷惑をかける私語は厳禁とする。また、スマートフォンの無断使用禁止、発覚したら講義中止措置をとることがある。講義資料内にある練習問題に取り組むこと。講義聴講や教科書の範囲に留まることなく参考書など積極的な学習の取り組みを望む。								

## 2020年度 授業計画 (シラバス)

授業科目	解剖学Ⅱ	分野	専門基礎	単位数	1	時間数	30	開講	前期
科目目標	人体が各組織・器官系統より、どのように構成されているか。また、正常な構造を形態的に理解する。								
回	主題	授業内容			授業方法		担当教員 (講師)		
1	呼吸器系統 1	外鼻、鼻腔 (副鼻腔、鼻粘膜と嗅器)、腺、漿膜			講義		非常勤講師		
2	呼吸器系統 2	咽頭、喉頭、気管と気管支、肺、胸膜、縦隔			講義				
3	内分泌系統	甲状腺、上皮小体、副腎、膵臓、消化器、生殖、その他のホルモン			講義				
4	泌尿器系統	腎臓、尿管、膀胱、尿道、排尿にかかわる筋と神経			講義				
5	生殖器系統：男性	精巣と精巣上体、精管と精索、陰茎、付属生殖腺、精子			講義				
6	生殖器系統：女性	卵巣、卵管、子宮、膣、外陰部、乳腺、胎盤、臍帯			講義				
7	発生	受精と着床、胚子と胎児、胚葉と組織			講義				
8	神経系統総論	シナプス、神経伝達物質、変性と再生、自律神経系			講義				
9	中枢神経系	中脳、橋、延髄、間脳 (視床、視床下部) 大脳皮質、基底核、辺縁系			講義				
10	中枢神経系	髄膜、脳室と髄液、脳の動静脈、求心性伝導路、遠心性伝導路			講義				
11	中枢神経系	小脳、脊髄の構造、脳神経			講義				
12	感覚器系統 1	視覚器；角膜、強膜、脈絡膜、毛様体、虹彩、網膜、水晶体、レンズ			講義				
13	感覚器系統 2	聴覚器と平衡覚器、蝸牛、卵形嚢と球形嚢、三半規管、嗅覚器と味覚器			講義				
14	皮膚	表皮、真皮、皮下組織、爪、毛、腺 熱傷、9の法則、感覚器			講義				
15	定期試験 (90分)				講義				
教科書、参考書等		系統看護学講座 解剖生理学, 医学書院, 2020.							
評価方法		定期試験、小テスト、受講態度を基に総合的に評価する。							
履修上の注意点		講義中、他人に迷惑をかける私語は厳禁とする。また、スマートフォンの無断使用禁止、発覚したら講義中止措置をとることがある。講義資料内にある練習問題を取り組むこと。講義聴講や教科書の範囲に留まることなく参考書など積極的な学習の取り組みを望む。							

## 2020年度 授業計画 (シラバス)

授業科目	生理学 I	分野	専門基礎	単位数	1	時間数	30	開講	前期
科目目標	人体の生理機能を理解する。								
回	主題	授業内容			授業方法		担当教員 (講師)		
1	細胞の機能	エネルギーの変換とATP, 核酸からタンパク質の合成、細胞膜の機能			講義		非常勤講師		
2	細胞の機能と消化	体液とホメオスタシス、口腔、食道、胃、膵液、胆汁、腸液の働き			講義				
3	消化と吸収	消化管の自律神経支配、小腸の運動、小腸の吸収、大腸、肝臓			講義				
4	呼吸	内呼吸と外呼吸、呼吸運動、肺胞の機能、肺気量			講義				
5	呼吸	一秒率と%肺活量、ガス交換とガスの運搬			講義				
6	呼吸	呼吸中枢、呼吸の調節、呼吸の調節異常、異常呼吸			講義				
7	血液	血液の働き、血液成分、血球の種類、赤血球の機能			講義				
8	血液	白血球の機能、非特異的生体防御機構と特異的生体防御機構 (免疫)			講義				
9	血液	血漿タンパク質、血液の凝固と線溶、HLAとは、血小板の機能			講義				
10	血液	ABO式とRh式血液型、輸血			講義				
11	心臓	体循環と肺循環、心筋、刺激伝導系、心電図波形の意味			講義				
12	心臓	心電図の記録と計測、心拍数と電気軸の求め方			講義と測定				
13	心臓	異常心電図波形、血圧測定、心周期、心拍出量			講義と測定				
14	心臓	心内圧と心音、心臓反射、血管の調節			講義				
15	定期試験 (90分)								
教科書、参考書等		系統看護学講座 解剖生理学, 医学書院, 2020.							
評価方法		試験：定期試験。 評価：定期試験 (90%) に授業態度 (5%) と講義ノート点検 (5%) を含め、総合的に評価する。							
履修上の注意点		配布の講義資料ノートを作成し、復習中心に学習して欲しい。講義ノートの点検は随時講義時に実施する。							

## 2020年度 授業計画 (シラバス)

授業科目	生理学Ⅱ	分野	専門基礎	単位数	1	時間数	30	開講	前期
科目目標	人体の生理機能を理解する。								
回	主題	授業内容			授業方法		担当教員 (講師)		
1	腎臓	濾過と再吸収、浮腫、腎臓の機能、腎小体と糸球体			講義		非常勤講師		
2	腎臓	尿細管の機能、腎機能検査、排尿、尿			講義				
3	体液の調節	脱水と電解質、PHと酸塩基平衡障害			講義				
4	自律神経	自律神経の機能、自律神経の伝達物質			講義				
5	内分泌	内分泌腺とホルモン、ホルモンの構造と作用			講義				
6	内分泌	ホルモン調節、視床下部ホルモンの作用、下垂体前葉ホルモン			講義				
7	内分泌	甲状腺、上皮小体、膵臓、副腎ホルモンの作用と疾患、			講義				
8	内分泌と生殖	性ホルモン、性の決定と分化、性周期と妊娠			講義				
9	骨格筋と神経	骨格筋の筋収縮機構、筋収縮の種類、ニューロン、神経の興奮と伝導、シナプス、脊髄反射			講義				
10	神経	脳幹の機能、間脳の機能、大脳の機能、脳神経の働き			講義				
11	慎英	脳波睡眠と脳波、脳死と植物状態、脊髄伝導路			講義				
12	感覚	体性感覚、視細胞、視覚の伝導経路、色覚とその異常			講義				
13	感覚	聴覚と平衡覚、味覚と嗅覚			講義				
14	疼痛と体温	疼痛、体温、老化現象			講義				
15	定期試験 (90分)								
教科書、参考書等		系統看護学講座 解剖生理学, 医学書院, 2020.							
評価方法		試験：定期試験。 評価：定期試験 (90%) に授業態度 (5%) と講義ノート点検 (5%) を含め、総合的に評価する。							
履修上の注意点		配布の講義資料ノートを作成し、復習中心に学習して欲しい。講義ノートの点検は随時講義時に実施する。							

2020年度 授業計画 (シラバス)

授業科目	生化学	分野	専門基礎	単位数	1	時間数	30	開講	前期
科目目標	人体の構成成分である化学物質の性状、その分布及び代謝を理解する。【私達の身体は数多くの物質から成り立っており、それらがひとつとして無駄もなく代謝（合成と分解）を繰り返して生命活動を維持している。さまざまな疾患はその代謝活動に何らかの支障をきたした結果、引き起こされるものであり、その前提となる正常な代謝を理解する必要がある。この講義は、人体における代謝を化学的、栄養学的視点から捉え、各種疾患の診断、治療に欠かせない基礎医学の知識を習得させることを目標にする。】								
回	主題	授業内容	授業方法	担当教員 (講師)					
1	生体の仕組みと生体内代謝の概要	細胞の基本構造、核およびミトコンドリアをはじめとする細胞内小器官の役割	講義	非常勤講師					
2	糖質の種類	糖質の分類および役割	講義						
3	糖質代謝	糖質の消化吸収、細胞内における糖質代謝経路（解糖系、クエン酸回路と電子伝達系、糖新生）	講義						
4	脂質の種類	脂質の種類、構造および役割	講義						
5	脂質代謝	リポタンパク質の役割、中性脂肪の消化吸収、脂肪酸分解反応（ $\beta$ -酸化）、脂肪酸合成反応	講義						
6	アミノ酸の種類 タンパク質の構造	アミノ酸の構造と分類、両性電解質の特性、タンパク質の基本構造（一次～四次構造）	講義						
7	タンパク質、アミノ酸代謝	タンパク質の性質および役割、タンパク質の消化吸収、アミノ酸代謝	講義						
8	前半のまとめ	三大栄養素の代謝について	講義						
9	酵素総論	酵素の働きや特性、酵素と補酵素及び補因子の関係、酵素アイソザイム	講義						
10	酵素各論	各種酵素の臨床的意義	講義						
11	ビタミン	各種ビタミンの分類と役割、各種ビタミン欠乏症	講義						
12	核酸	核酸の構造と役割、遺伝情報からのタンパク質の合成、核酸代謝	講義						
13	無機質	体内における無機質の役割、酸塩基平衡	講義						
14	ホルモン	各種ホルモンの構造、分泌部位、主な作用 各種ホルモンの分泌不全と過剰症	講義						
15	定期試験 (90分)	まとめ	試験						
教科書、参考書等		系統看護学講座 生化学, 医学書院, 2020.							
評価方法		評価法：定期試験（90%）、受講態度（10%）で総合的に評価する。 基準：到達目標1～5の理解度を計るための設問を定期試験で出題する。							
履修上の注意点		1) 講義は配布資料に従って行うのでしっかりとメモを取って欲しい。 2) 配布した講義資料が理解できなかった場合、教科書などで確認すること。 3) 定期試験に向けての課題を課すので、各自しっかりと学習すること。 4) 看護師国家試験の出題される内容なので、積極的に学習すること。							

## 2020年度 授業計画（シラバス）

授業科目	微生物学	分野	専門基礎	単位数	1	時間数	30	開講	前期
科目目標	微生物の特徴、生体に及ぼす影響とその対応を理解する。								
回	主題	授業内容			授業方法		担当教員（講師）		
1	細菌の性質1	細菌の形態と特徴			講義		非常勤講師		
2	細菌の性質2	細菌の遺伝、分類、常在細菌叢			講義				
3	真菌、寄生虫、ウイルスの性質	真菌、寄生虫、ウイルスの形態と特徴			講義				
4	感染に関する生体防御機構1	自然免疫			講義				
5	感染に関する生体防御機構2	獲得免疫			講義				
6	感染と感染症	感染の成立から発症・治癒まで、感染症の現状と問題点、感染症対策			講義				
7	感染症の予防	滅菌と消毒、標準予防策			講義				
8	感染症の治療	化学療法の基礎、各種化学療法薬			講義				
9	細菌感染症1	グラム陽性菌			講義				
10	細菌感染症2	グラム陰性菌			講義				
11	細菌感染症3	抗酸菌、リケッチア、クラミジア、マイコプラズマ			講義				
12	真菌感染症	カンジダ属、アスペルギルス属、クリプトコッカス属			講義				
13	ウイルス感染症1	呼吸器感染症、消化器感染症、性感染症、日和見感染症の原因ウイルス			講義				
14	ウイルス感染症2	急性発疹性または発熱性感染の原因ウイルス、肝炎ウイルス、血液を介して感染するウイルス			講義				
15	定期試験（90分）	定期試験			試験				
教科書、参考書等		系統看護学講座 微生物学, 医学書院, 2020.							
評価方法		定期試験にて評価する。							
履修上の注意点		毎講義終了後に講義内容に関する問題を配布するので、講義ノートあるいは教科書などから自分で調べて解答すること。 微生物の仕組みに興味を持ち、考えること。そして疑問を持つこと、疑問を持ったら自分で調べる方法を知って解決する努力をすること。							

## 2020年度 授業計画 (シラバス)

授業科目	病因論	分野	専門基礎	単位数	1	時間数	30	開講	前期
科目目標	病気の本能である病変の形態的、機能的特徴を理解する。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員 (講師)			
1	病理学とは	看護と病理学、病気の原因、病気の分類について			講義	非常勤講師			
2	細胞・組織の障害と修復	細胞の損傷と適応について			講義				
3	細胞・組織の障害と修復②	組織の修復と創傷治癒について			講義				
4	循環障害①	循環系の概要、充血、うっ血、出血について			講義				
5	循環障害②	血栓症、塞栓症、虚血、梗塞、ショックについて			講義				
6	炎症と免疫	炎症とそん分類、アレルギーと自己免疫疾患について			講義				
7	移植と再生医療	移植と再生医療について			講義				
8	感染症	感染と宿主の防御機構、主な病原体と感染症について			講義				
9	代謝障害	脂質、蛋白質、その他の代謝障害、糖尿病について			講義				
10	老化と死	個体の老化、加齢に伴う臓器の変化、脳死について			講義				
11	先天異常と遺伝子異常	先天異常と遺伝子の異常、遺伝子の治療について			講義				
12	腫瘍①	腫瘍の定義と分類			講義				
13	腫瘍②	悪性腫瘍の広がりや影響			講義				
14	腫瘍③	腫瘍の発生病理と腫瘍の診断と治療について			講義				
15	定期試験				定期試験と講義				
教科書、参考書等		系統看護学講座 病理学, 医学書院, 2020.							
評価方法		授業態度と定期試験を総合的に評価する。							
履修上の注意点		私語は厳禁である。飲食は禁止である。専門用語が多く使用されるが、予習、復習を心掛ける。							